

八ツ堀のしみず谷津の取組み

～ネイチャーポジティブ実現に向けて～

橋本 純

環境経営推進室 グリーンインフラ推進部

2023（令和5）年9月29日

子どもたちに語れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設

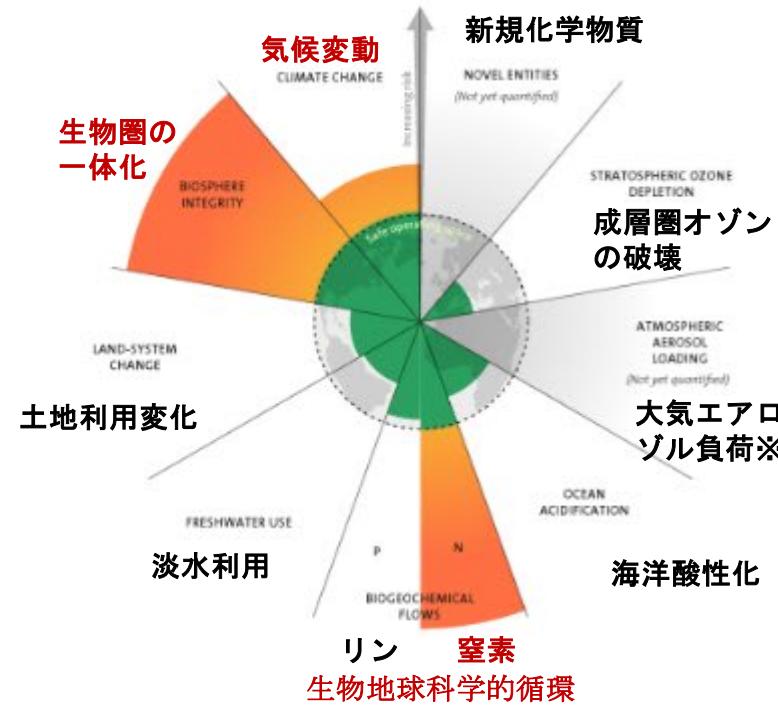


清水建設は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

プラネタリーバウンダリー

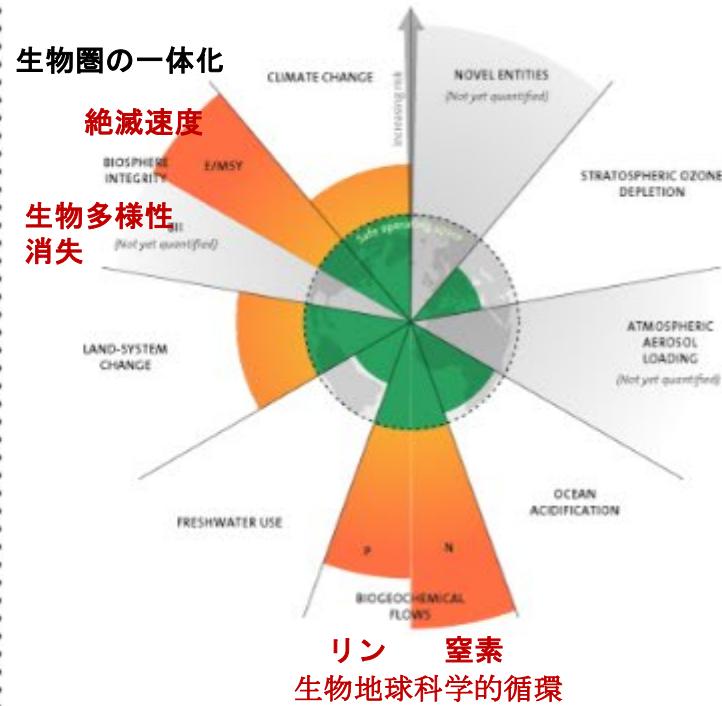


2009



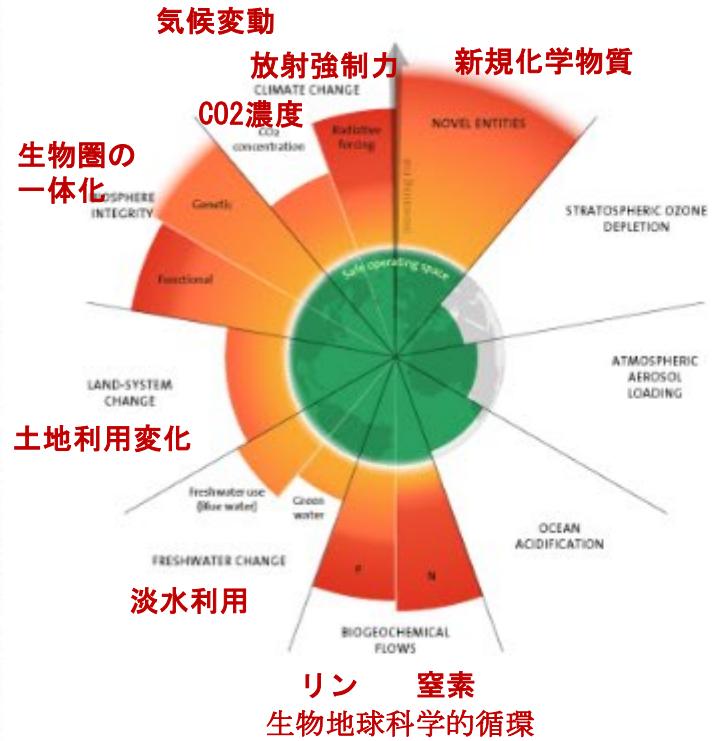
3 boundaries crossed

2015



4 boundaries crossed

2023



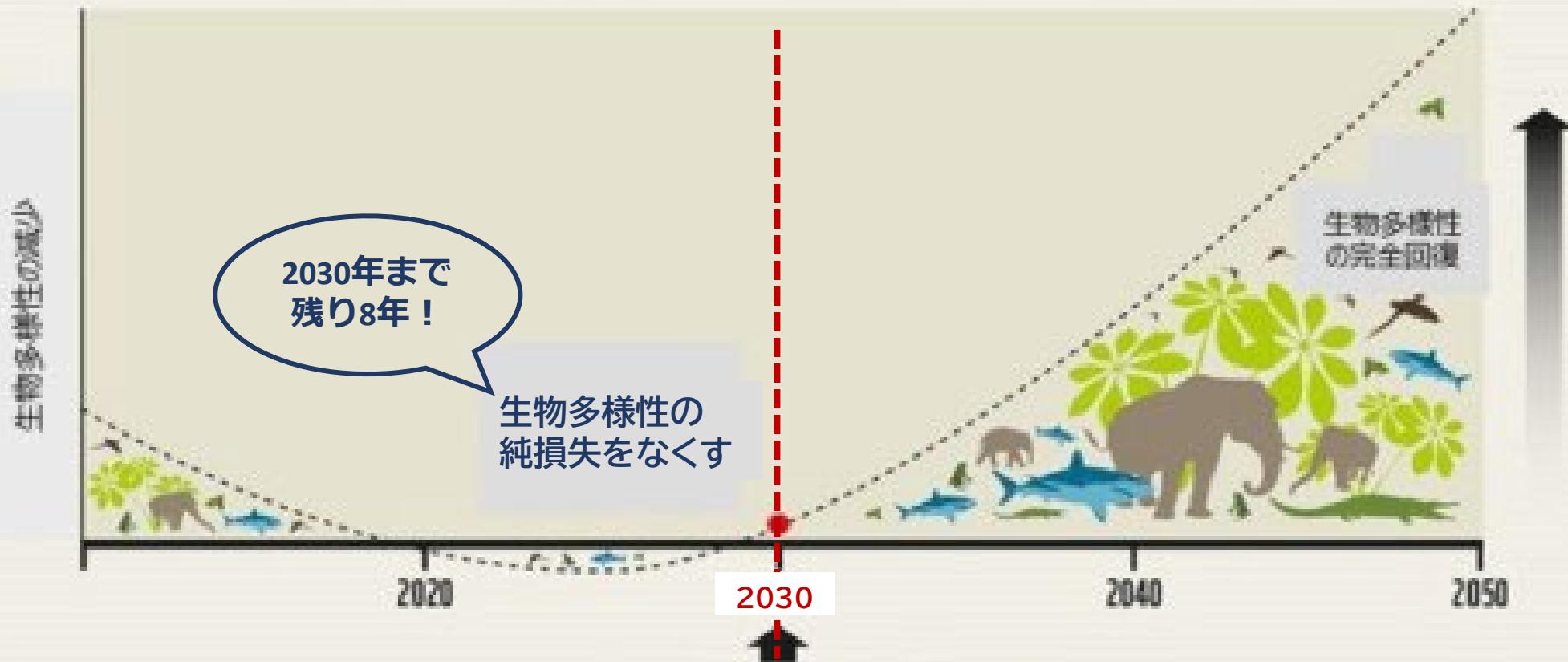
6 boundaries crossed

■ 地球の限界の領域内（安全） ■ 不安定な領域（リスク増大） ■ 不安定な領域を超えてしまっている（高リスク）

※気体中に浮遊する微小な液体または固体の粒子と周囲の気体の混合体

ネイチャーポジティブ

Global Goal for Nature: Nature Positive by 2030



(2) SHIMZ Beyond Zero 2050

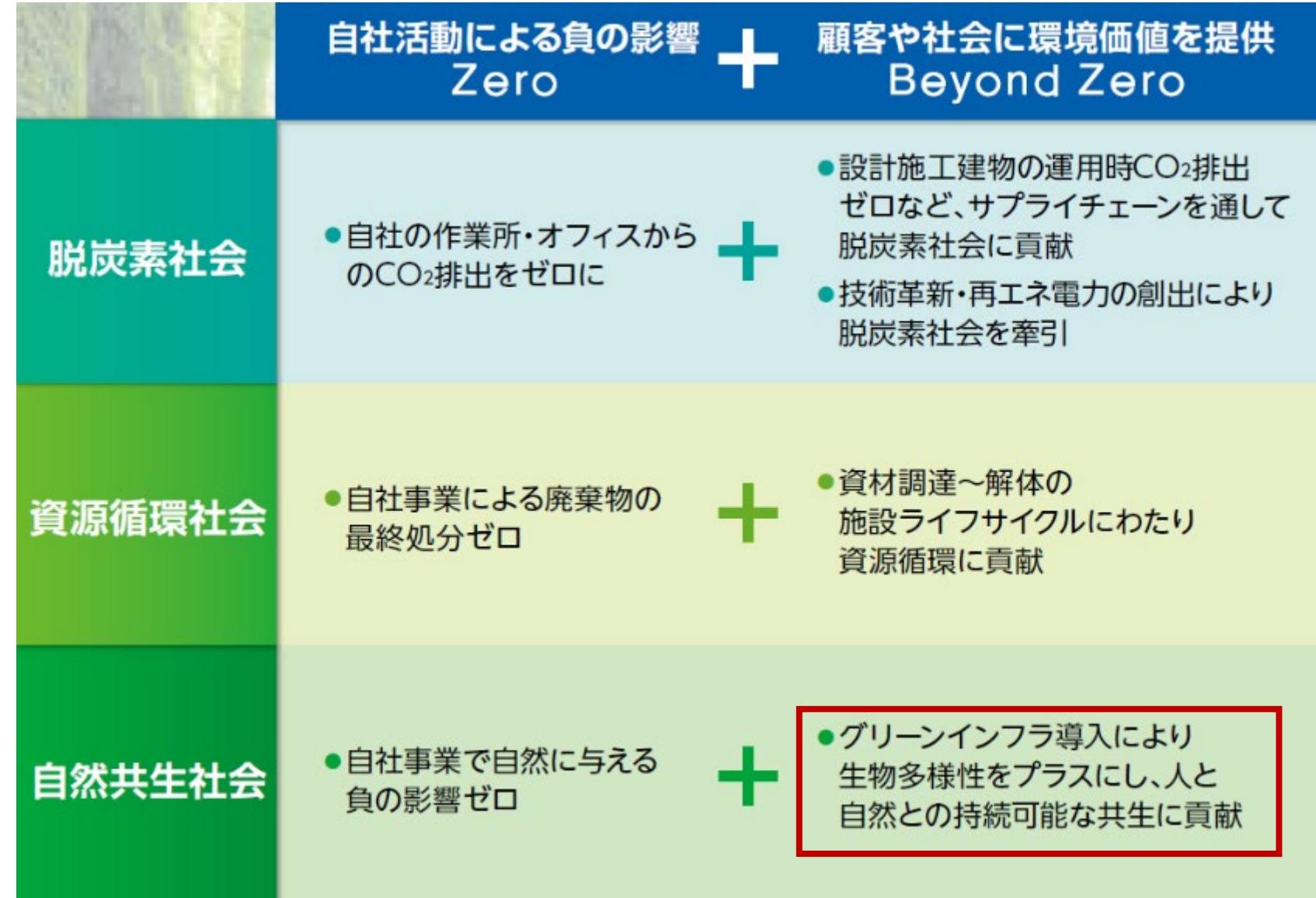
～脱炭素・資源循環・自然共生社会の実現に貢献～



(2) SHIMZ Beyond Zero 2050

Beyond:

自社活動による負の影響を"ゼロ"にするだけではなく、顧客や社会に"プラス"の環境価値を提供する



GI+とSDGs

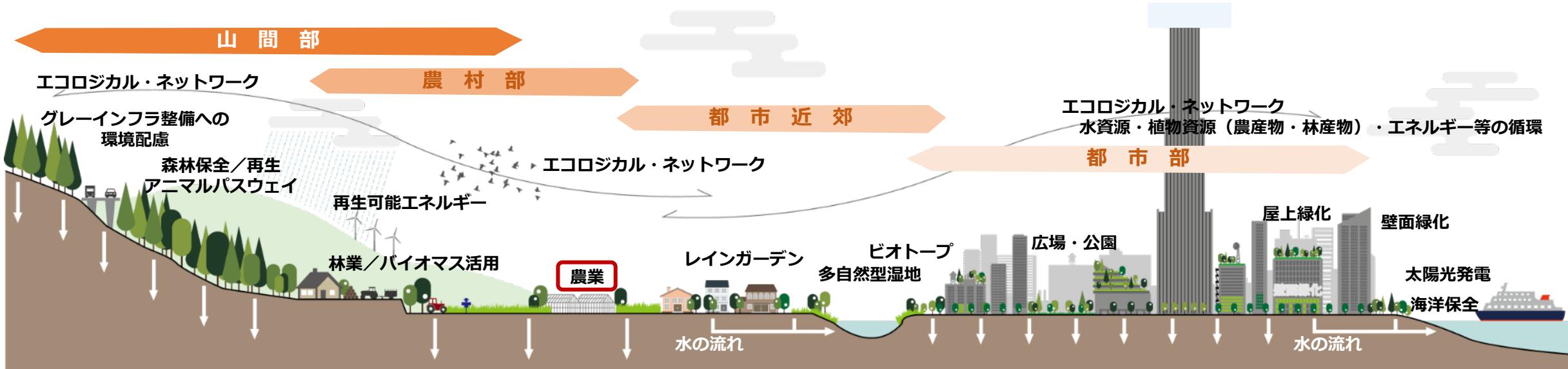


プラネタリーバウンダー

- ①気候変動
- ②新規物質の導入
- ③成層圏のオゾンの破壊
- ④大気工アロゾルの負荷
- ⑤海洋酸性化
- ⑥生物地球科学的循環
(養分：リン、窒素)
- ⑦淡水利用
- ⑧土地利用変化
(森林破壊、土地利用改変等)
- ⑨生物圏の一体化
(生物多様性の損失、絶滅速度)



八ツ堀のしみず谷津の変化



八ツ堀の
しみず谷津



谷津の休耕田再生

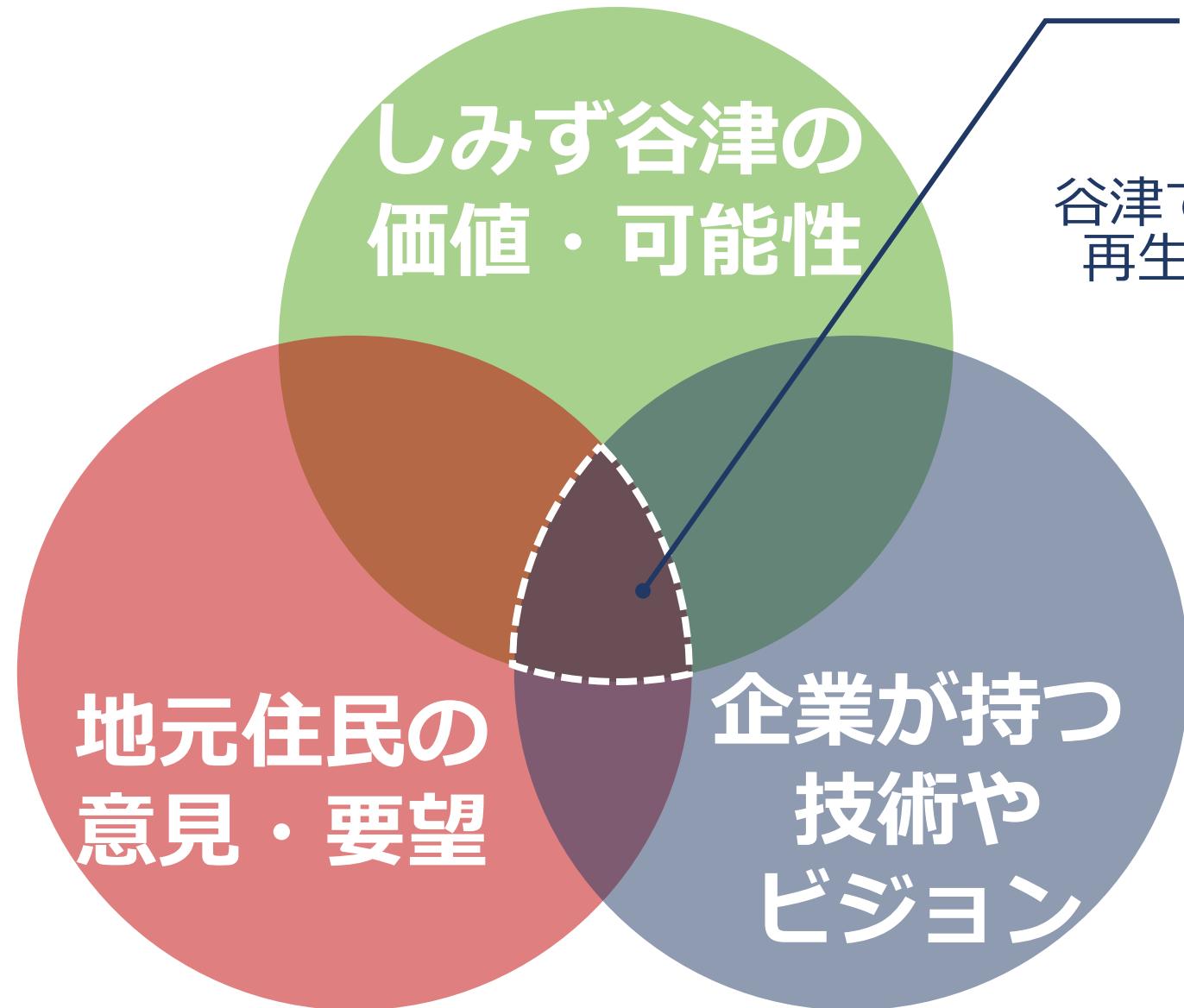
- 千葉県富里市
- 国立環境研究所、NPO富里のホタル、おしどりの里を育む会、NPO法人アースウォッチ・ジャパンと連携

八ツ堀：
現地の
小字名

しみず：
湧き水の
別名

谷津：
湧き水が
出る地形

リビングラボ：CSRからCSVを目指して



Creating Shared Value

共通価値の創造

谷津での新たな「人と自然のかかわり」を
再生することで、どのような共通価値を
創造できるか？



「リビングラボ」

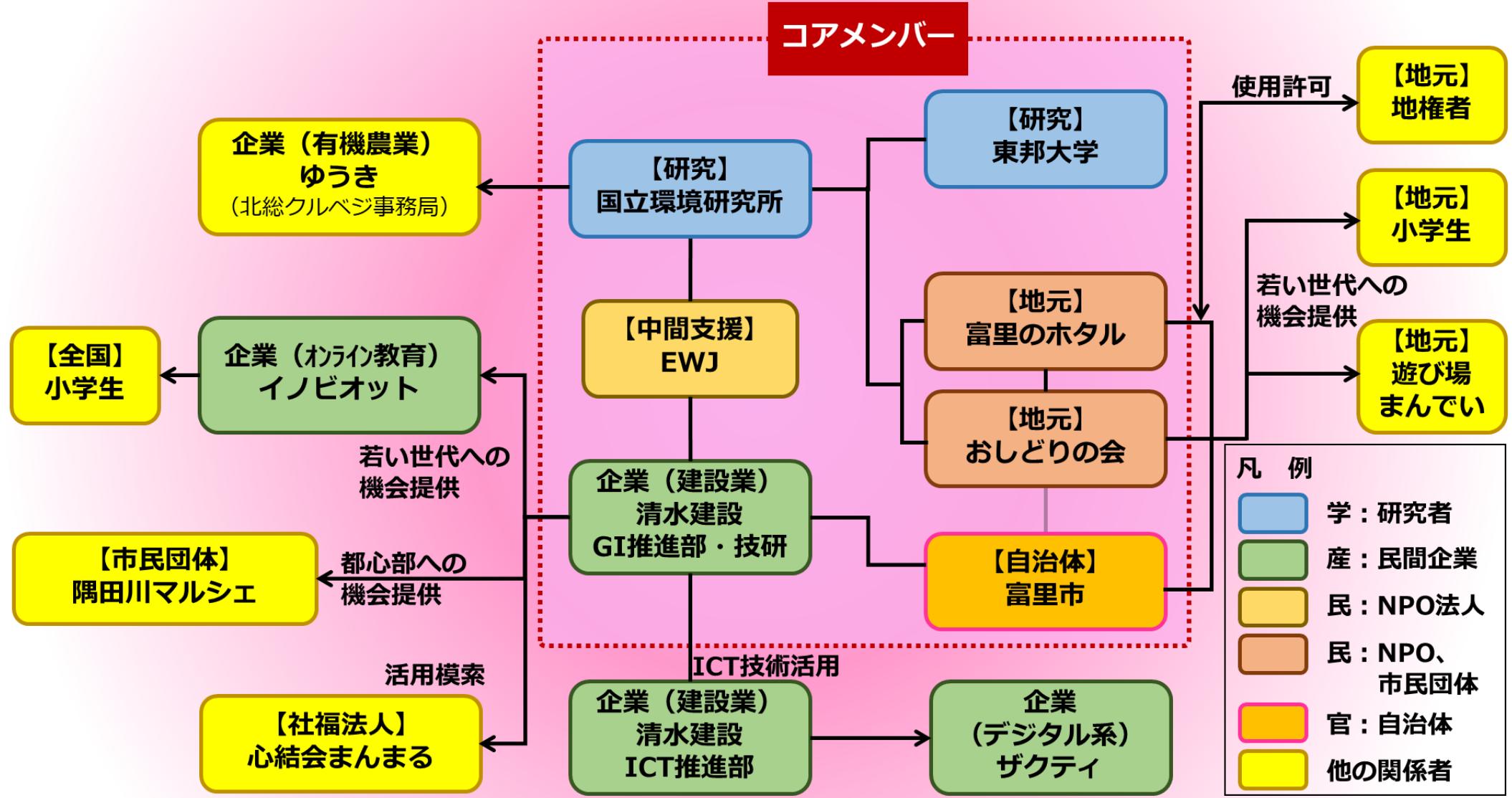
産官学民が連携し、
しみず谷津の活用方法を
実験的に探索



子どもたちに誇れるしごとを。

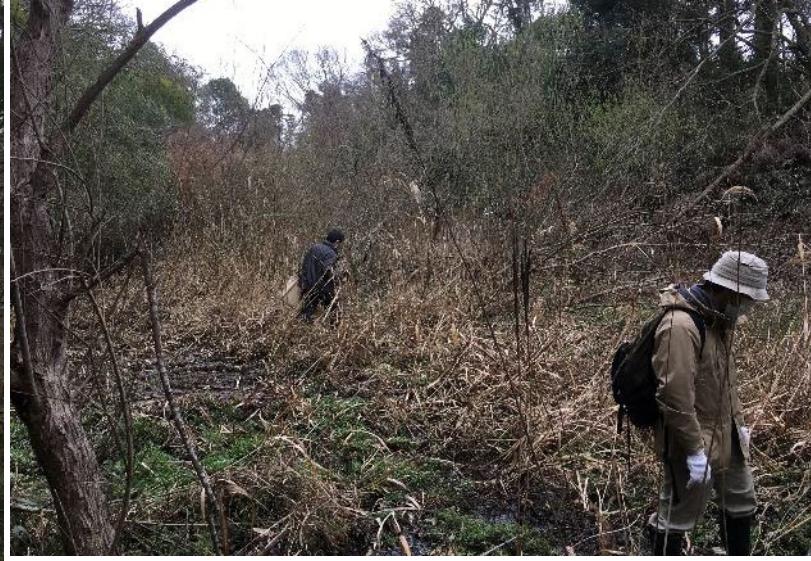
リビングラボとは

開かれたイノベーションを起こすためのエコシステム



ハツ堀のしみず谷津の変化

2020年3月



2021年6月



八ツ堀のしみず谷津の変化

2021年12月



ハツ堀のしみず谷津の変化

2022年5月



2022-05-26 07:49:26

SHIMZ

12

八ツ堀のしみず谷津の変化

2022年7月



ハツ堀のしみず谷津の変化

2023年9月



いろんなことやってます！=リビングラボ

